

大月コンテンポラリーアート 2023

未来を 立ちあげる 広げる

9.9 sat - 9.23 sat

OTSUKI CONTEMPORARY ART 2023
Launch and expand the future

四国の端っこ大月町で「未来を 立ちあげる 広げる」展を開催します。

大月町はこの50年で人口が約半分になりました。さらにその約半分が高齢者という典型的な過疎地です。その大月町で廃校舎をリフォームしてCOSAが今年オープンしました。COSAはアーティストや研究者も利用できる長期滞在型複合施設です。

昨年はプレオープン企画として「大月コンテンポラリーアート2022—廃校オルゴールとマララの鉛筆」を開催しました。今回は、3Dプリンターを用いた作品をつくるチェコ出身作家や、京都市立芸術大学の教員・学生など、関西で活動する6名のアーティストを招き、さらにスケールアップした「大月コンテンポラリーアート2023—未来を立ちあげる広げる」を、COSAを会期中は公開制作や3Dプリントをはじめとする多彩なワークショップ、アーティストの町内探検や出張ワークショップなど、レジデンススペースを活かした試みを行い、日常とアートを繋げ、大月町の未来を立ちあげ広げる可能性を探ります。最終日は関東のマリンバ(木琴)奏者の市川みどりさんの演奏会を開催します。今回は特別に旧小才角小学校(現COSA)の校歌も演奏しますので、こちらも楽しみに。

【展覧会名】 大月コンテンポラリーアート 2023
未来を 立ち上げる 広げる

【開催日時】 2023年9月09日(土)～23日(土)
AM10時～PM4時(会期中無休)

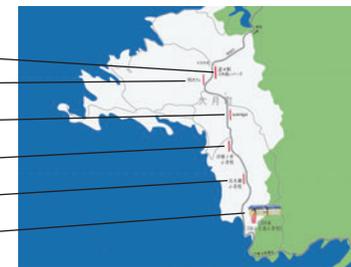
【会場】 COSA(旧小才角小学校)
高知県幡多郡大月町小才角 350
TEL 0880-75-5262

【アクセス】 宿毛駅から
・バスで40分(高知西南交通清水宿毛線「小才角」下車 徒歩7分)
・車で30分(R321)

📍 赤い巨大鉛筆を目印に！

COSAは大月町の南に位置します。大月町内の国道321号線沿いには高さが2～3mの赤い鉛筆が数ヶ所に立っています。

- 📍 道の駅 ふれあいパーク
- 📍 桜カフェ(大月町弘見銚土 8-8)
- 📍 Waraya わらや(大月町姫ノ井 1816-148)
- 📍 旧姫ノ井小学校(大月町姫ノ井 882)
- 📍 旧月灘小学校(大月町才角 748)
- 📍 COSA(旧小才角小学校)



主催：+1art

協賛：大月町

後援：大月町教育委員会、高知新聞社、RKC高知放送、KSSさんさんテレビ

協力：くろしお芸術協議会

【会期中イベント】

		シュヴァーブトム	京都市立芸術大学 作家 (安藤 由佳子、神林 優美、佐俣 和木、ベーハイム雪絵ラオレンティア、吉村 衿菜)
opening	09 土	ワークショップ／3Dプリント 【1回目】AM10時～ 【2回目】PM 2時～	「公開制作を→作家が語る／作家と語る」 PM 3時～
opening	10 日	ワークショップ／3Dプリント 【1回目】AM10時～ 【2回目】PM 2時～	プロジェクト「ふるさとをつくる～Creating a hometown～」 参加型公開制作 PM 1 時～ (安藤由佳子)
	11 月		
	12 火		
	13 水	常設展示 (校庭・校舎内)	公開制作
	14 木		
	15 金		
	16 土		ワークショップ「水の記憶に耳を澄ませる」 PM 10 時～ (神林優美)
	17 日		ワークショップ「いろいろな形を投げる」 PM 2 時～ (佐俣和木)
	18 月		ワークショップ「いろいろな形を投げる」 PM 2 時～ (佐俣和木)
	19 火		完成作展示
	20 水		
	21 木		
	22 金		
closing	23 土		「公開制作を→作家が語る／作家と語る」 PM 2 時～
			音楽会 (市川みどり/マリンバ、石崎友隆カルテット) PM 3 時～

【出展作家】 シュヴァーブトム Tomas SVAB
 安藤 由佳子 Yukako ANDO
 神林 優美 Yumi KAMBAYASHI
 佐俣 和木 Kazuki SAMATA
 ベーハイム雪絵ラオレンティア Yukie Laurentia BEHEIM
 吉村 衿菜 Erina YOSHIMURA

【展示作品】

常設展示 (校庭・校舎内)

立体 (3D プリンターで作成した部品、他) /シュヴァーブトム

公開制作 (9/9～20) 完成作展示 (9/21,22,23)

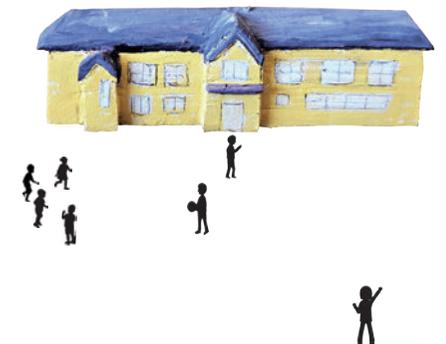
サウンドインスタレーション《Endless Summer》/安藤 由佳子
 プロジェクト《ふるさとをつくる～Creating a hometown～》
 /安藤 由佳子

インスタレーション/神林 優美、佐俣 和木、
 ベーハイム雪絵ラオレンティア、吉村 衿菜

【関連イベント】

大月町探検 (詳細はインスタグラム、web サイトで随時公開)
 大月町内を視察 /京都芸術大学 作家

3Dプリント出張ワークショップ (9/06 : プレイベント)
 大月町小学校訪問 5・6 年生対象 /シュヴァーブトム



Artists

シ
ユ
ヴァ
ー
ブ
ト
ム

Tomas SVAB



常設展示
(校庭・校舎内)

work by 3D printing 2023
photo: ©Tomas SVAB

チェコ・プラハ生まれ、幼少時にカナダへ移住。エミリー・カー芸術デザイン大学写真学科卒業。2007年より拠点を京都へ。映画制作の経験を生かし、時間をテーマにした写真作品や、古典写真技法と現代の技術を融合させたインスタレーション制作を展開。作品はこれまで北米、ヨーロッパ、アジアで展示・コレクションされている。トロントのモントリオール銀行においては、カナダ国内にて最優秀賞を受賞した科学と美術を融合させた写真作品が所蔵されている。

佐
俣
和
木

Kazuki SAMATA



公開制作

ニューすぼ〜つプロジェクト 2022
Photo:©Kazuki SAMATA

作品作りを通して、日常に潜む違和感をユーモラスに置き換えていくような活動をしている。近年は、「遊び」が「スポーツ」に変化し確立していくことで失われたゆとりや豊かさに着目し、リサーチを行いながら自身のスポーツ体験と重ねて表現活動をしている。滞在中は「投げる」動作の身体性に着目しつつ、大月町に根付くスポーツ文化の可能性に触れるワークショップなどを展開します。

2017 多摩美術大学 情報デザイン学科メディア芸術コース 卒業

2019 多摩美術大学 同学科同コース研究室 副手

2023 京都市立芸術大学大学院 美術研究科彫刻専攻 修了

2023 京都市立芸術大学 総合基礎実技 非常勤講師

安
藤
由
佳
子

Yukako ANDO



公開制作

BALD BIN ICH WEG 2005
Photo:©Alistair Overbruck

1972年 大阪生まれ。2001年 デュッセルドルフ芸術アカデミーを卒業。ドイツ、ヨーロッパを中心に個展・グループ展を開催。2013年 文化庁新進芸術家海外研修を機にアメリカに活動拠点を広げる。日常生活のふとした出来事を取り上げ、根源的な人間の生への営みや、人間社会の在り方について、様々な手法で問いかける作品を展開する。2021年より京都市立芸術大学彫刻専攻准教授。

ベ
ー
ハ
イ
ム
雪
絵
ラ
オ
レ
ン
テ
ィ
ア

Yukie Laurentia BEHEIM



公開制作

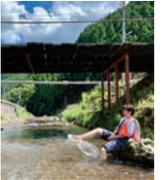
石は思った 2019
Photo:©2023 Yukie Laurentia BEHEIM

人間や物事の目には見えず計り知れない存在、変移と記憶について考えています。絵画・彫刻・映像などの作品を通して静かに自分と向き合える機会を人々に提供したいと思っています。日本の伝統文化にある美意識を探究しながら、日本と西洋それぞれにある文化的特徴を取り入れ、新たな表現に繋げることを目指しています。大月町では自然の中に映る人の心、自然から得られる精神性や神秘性、美に焦点を置き、鑑賞者に新たな体験を与えることができれば幸いです。

ドイツ出身。2019年 デュッセルドルフ芸術アカデミーを卒業後 京都へ能面打ちを学びに移住し、京都を拠点に日独両国で作家活動を行っている。2023年より京都市立芸術大学彫刻専攻非常勤講師。

神
林
優
美

Yumi KAMBAYASHI



公開制作

letters on the air 2021
Photo:©Yumi KAMBAYASHI

声という音から生まれる“言葉、そして現代社会での“言語コミュニケーション”の在り方に着目し、作品制作を始める。言語は人類共通の意思疎通手段である一方で、個人単位とした歴史的背景を有する独立したメディアとして捉えられる。言語を使って生きていくことは翻訳作業を絶え間なく行なっているということであり、そこに生じる齟齬や理解し合えないことについて折り合いをしながらも進む世界について考える。

1999 石川県生まれ

2022 京都市立芸術大学 音楽学部音楽学科声楽専攻 卒業

2022 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 構想設計専攻 在学中

吉
村
衿
菜

Erina YOSHIMURA



公開制作

水を運ぶ 2023
Photo:©Erina YOSHIMURA

1998 大阪府生まれ

2023 京都市立芸術大学 美術学部 美術科 彫刻専攻 在学中

展 示

2022 「京都駅ビル芸術祭 2022～中継地点 from 京芸～」 京都駅ビル 7F 東広場 / 京都

2023 「マンションみどり 春の新生活応援祭り vol.2」 マンションみどり / 大阪

2023 「パ」京都市立芸術大学小ギャラリー / 京都

受賞歴

2023 「2022年度京都市立芸術大学作品展」奨励賞